

新刊ピックアップ



「絶遠の春」 堂場瞬一 著 集英社／創刊140年の歴史を誇る「日本新報」が倒産した。社会部記者であった南康祐は、志を同じくする仲間たちとネット専門メディアの立ち上げを決意する。報道の未来を賭けた挑戦は成功するのか…。*Fト



「シルバー川柳 忘れてもポチが知ってる帰り道」 全国有料老人ホーム協会編 ポプラ社／年を聞きみんな驚くふりをするクマ注意ワシは絶対ツマ注意 あの人の名前出るまで三日間 戒名がキラキラ名になる没後。入選作、応募作を収録。*911.4シ



「クマに出遭ってしまったら」 山崎晃司 著 PHP研究所／森のあるところではどこでもクマと出遭う可能性がある時代に突入した。クマについての基本的な知識、クマと出遭わないための手段、クマと出遭ってしまったときの対応方法などを、人身事故事例を盛り込みながら解説する。*489ヤ



「楽しく作って!遊んで学べる!手作りごっこ遊び」 あん 著 ブティック社／お店屋さんごっこ、魚釣りごっこ、お祭りごっこ…。自由に遊びながら、子どもの力を引き出そう! YouTuber・あんが考案した、身近な材料で作れる全28種類のごっこ遊びグッズを紹介する。実物大の型紙も掲載。*599ア



「残火」 辻堂ゆめ 著 東京創元社／14年前に世間を震撼させた産院放火殺人事件。その被害者遺族が誘拐され、容疑者は加害者の息子だった。これは歪な復讐なのか? 「トリカゴ」の刑事たちが辿り着いた慟哭の真相とは。*Fツ



「戦争犯罪と闘う 国際刑事裁判所は屈しない」 赤根智子 著 文藝春秋／(文春新書)ロシアによるウクライナ侵攻と、イスラエルによるガザへの非人道的な攻撃。2つの戦争に向き合い、プーチンとネタニヤフに逮捕状を出した国際刑事裁判所のトップが、国際紛争の最前線で闘う裁判所の奮闘を語る。*329ア



「歩く マジで人生が変わる習慣」 池田光史 著 ニューズピックス／ニーチェもベートーヴェンもザッカーバーグも「歩きまくっている」。「歩く」という人間の本質的な行為こそが、脳と身体を鍛え抜き、生産性やクリエイティビティを高め、現代人の抱えるあらゆる問題を解決することを伝える。*498イ



「大人のあぶあぶでーと」 益田ミリ 著 ポプラ社／洋服を作る、カーリング…。著者が体験した身近なモノゴト34個への挑戦を綴る、な～んか新しいこと始めたいと思っている人の背中を優しく押すコミックエッセイ。*726マ



「ギャルにひかれて寺マルシェ」 宮島未奈 著 KADOKAWA／父親の酒屋を継いだ30歳の英介は、子どもの頃に近所の陵泉寺に埋めた高価なカードを掘り出すことに。偵察のため、<寺マルシェ>を訪れると、ギャルメイクで法話を行う元同級生の姿が…。*Fミ



「先生、終わらない」 額賀濤 著 祥伝社／先生は定時で帰りなさい その部活、必要ですか? 先生なんて絶対ごめんです 部活で親が青春しないでください 本当に「部活のおかげ」ですか? 何故なら私達は先生だから。*Fヌ



「ゆっくり急げ」 ヤマザキマリ 著 中央公論新社／息子の成長、母と愛猫の死、引越、パンデミックでの夫とのバトル…。イタリアと日本を拠点に、漫画家・文筆家・画家と様々な才能で活躍するヤマザキマリのエッセイ66篇を収録する。『婦人公論』連載に加筆修正。*914ヤ



「ずっとおいしく食べるためのかむレシピ」 牛尾理恵 著 自由国民社／かむことを意識するだけでフレイル予防にもなり、健康寿命を延ばせる。食材の組み合わせ、切り方や味付けに着目しながら、自然とかむ回数が増え、口の健康に必要な栄養がとれる、肉や魚、野菜のおかずとおやつのかむレシピを紹介。*596ウ

としょかんだより

【下條村立図書館 184号 2026年10月1日発行】

雨続きで稲穂が倒れてしまっているのに、まだ稲刈りができなくて…そんな田んぼが数多く見られます。長雨の合間の秋晴れ、涼やかな風が吹く日中には「ちいさい秋」…ススキや彼岸花などの秋の草花が目に入ります。紅葉も、もうすぐでしょうか。雨の後には、気持ちのいい季節がやってくることでしょう。

としょかん大好き家族 竹内さんご一家

PART138 山一西



「知りたいことを本で知ることができて、学びがどんどん広がる。図書館って、新しい世界を見せてくれる窓みたい」 by 竹内さん

「あったあった、これこれ！」本を探していた長男の大湖(だいご)くん(年長組・6歳)が、大喜びでお母さんの円佳(まどか)さんに報告します。「静かに。ここは図書館だよ」と小声で諭し、「よかったね」と応えます。

2週間に1度、その時々に関心あるテーマの本を探し、借りていく竹内さんご一家。このごろは3人で来館。次男の元汰(げんた)くん(8か月)もいっしょです。「元ちゃん、いつも大ちゃんについてくるんだよ」と、抱っこしたり絵本を読んであげる大ちゃん。ふたりの元気と笑顔がはじけます😊

竹内さんは、8年前下條村に居を構えました。大湖くんが生まれ、ブックスタートで絵本と出会いました。つどいの広場に行き、更に絵本のよさを知りました。図書館に来てみたら、たくさん本や絵本がいっぱいあってびっくり！以前は図書館や本にそれほどご縁がなかったけれど、今や図書館は生活に欠かせない場となり、本が大好きになりました。

はじめは絵本の選び方がわからず「おすすめ絵本リスト」を参考にしました。大ちゃんに“好きな絵本”ができて自分で選べるようになると、“母が読んであげたい絵本”を年齢別おすすめコーナー等から選ぶようになりました。家での読書タイムは、“それぞれが自分の読みたい本を読む時間”と、“子どもに絵本を読んであげる時間”の2パターン。このごろ“数を数える”ことに興味しんしんの大湖くん。お母さんと数字に関する本を探すうち、『はじめてであう すうがくの絵本1〜3巻』(安野光雅さく/福音館書店)を見つけ、「読んでみたらおもしろくて！」もっと興味は広がり、深くなりました。

お父さんの哲也さんは、たびたび大湖くんとカブトムシ等を捕まえに出かけます。昆虫を飼い、観察して本で調べます。図鑑は「昆虫」「爬虫類・両生類」「動物」「恐竜」など何回も借り、くり返し眺めます。夜寝る前の絵本タイムは、時にはお母さんに代わり、お父さんが大活躍。そんな時、元汰くんは、近寄って来てじっと見たり触ったり。赤ちゃんながら、絵本体験まっただなかです😊

「いいんだに薬膳」を主宰する円佳さんは、4年前から薬膳の魅力を発信しています。村内外での教室や雑誌への連載も好評です♥️「薬膳には、『人間も自然のなかの一部』という考えがあるんです」と話す円佳さんも、自然に囲まれ子ども時代を過ごしました。今、昆虫や生き物と遊んで学ぶ大湖くんの自然体験も、薬膳のテーマにつながっているみたいです(*^~*)

今年の秋も読書月間。 図書館でいいことあるかな？

読書月間: 11月3日(火)~12月13日(日)

イベント情報

【読書月間おたのしみ会&特別企画】

1.「ステンシルでクリスマスカードづくり」

日時: 11月3日(火) 10:00 予定

* 文化の日(祝日)ですが開館します。

場所: あしたむらんど下条 会議室

講師: 滝沢 好美さん(飯田市)

内容: 1人カード5枚つくれます。

対象: 幼児(保護者同伴)~大人

参加費: 材料代300円

2. Park Library & Café (パーク・ライブラリー & カフェ)

日時: 12月5日(土) 11:00~13:00

* 子ども図書館ボランティアおはなし会
(10:30~11:00) 終了後

場所: あしたむらんど下条 ロビー

主催: 木下明日香さん(合上)

協力: 下条村立図書館 子どもボランティアほか

3.「本を借りたら包丁研ぎサービス」

日時: 12月5日(土) 10:00~17:00

場所: あしたむらんど下条 会議室

研ぐ人: 堀尾伸夫さん(小松原)

竹村宗次さん(新田)

対象: 当日、本を借りた人

制限: 1家族5本まで

雑誌のふろくプレゼントに
応募して運だめし(〇〇)／

○読書月間中に本を借りた人は、雑誌のふろくが当たるかもしれない“くじ”に応募することができます。期間中は、本を借りるたびに何度でも応募できます。

○毎年200人近くの方が当選し、豪華景品をゲットしています😊

○ぜひ、応募してみてください。

当選発表は、翌年1月予定です。

話題の本コーナー

1. 一般書

- ◆ 朝ドラ「ブラッサム」より…宇野千代さんの本
- ◆ 夜ドラ『税金で買った本』より…図書館を知ろう!
- ◆ 読書会で紹介された本、いかがですか?
- ◆ 癒やされたいあなたに、心がほっこりする本
- ◆ 追悼 東野圭吾特集

2. 児童書

- どんぐりの本(秋は木の実がたくさん!)
- 収穫したら楽しいね、おいしいね
(野菜・果物の本)

大型古本市

1. 日程

- ① 11月14日(土) 9:30
- ② 11月21日(土) 9:30
- ③ 11月28日(土) 9:30

上記土曜日の3回に分け、まとめて出します。

2. 内容 *雑誌のバックバンパー約40種、寄贈図書など
『現代農業』『ニュートン』『サライ』『文芸春秋』『暮らしの手帖』
『ESSE』『オレンジページ』『LDK』『クロワッサン』『リンネル』
『うかたま』『天然生活』『きょうの料理』『きょうの健康』『趣味の園芸』
『やさいの時間』『すてきにハンドメイド』ほか



館内の雑誌コーナー。ほか二か所あり。2

蔵書点検、システム更新を終えました。



9月7日から14日まで、蔵書点検とシステム更新(PC等機器入替)のため休館させていただきました。

蔵書点検とは、貸出されていない蔵書(約98,000冊)がすべて図書館にあるかどうかを、1冊ごとに(本のバーコードを機械でよみとることで)確認していく作業です。

職員2人とパートさん6人の総勢8人で、開架(貸出用書棚)と閉架(書庫)資料の点検を行い、無事完了することができました。

今回は、これまでになく“不明本”の数が少ない結果となりました。利用される皆さまのマナーが素晴らしいことがうかがえました。

万が一、ご自宅や勤務先などで「借りた覚えのない本が出てきた」「ずっと昔に借りたまま忘れていた本が出てきた」というようなことがありましたら、図書館までご連絡いただくか、お持ちいただければ幸いです。一度“不明本”扱いになった本でも、返却されればもとの蔵書に戻ります。

図書館の資料は、村民の「税金で買った」もの。そして、「図書館で本を借りる」ことは、子どもたちが「公のものをあずかる」ことを学ぶ機会にもなります。

当館では、皆さまが気持ちよく利用してくださっていることに感謝し、今後も適正な管理をしていきたいと思います。



書庫の中は、エアコンや窓もなく暑いため、ふたつの大型扇風機を持ち込み図書館から風を送り実施しました。

ご協力ありがとうございました。

子ども図書館ボランティアご紹介



活動日時:毎週土曜日 9:45~11:45

活動内容:①おはなし会 *毎週土曜日 10:30 図書館にて

【図書館ボランティアおはなし会】で

絵本・紙芝居・わらべうたを上演

②お仕事:テーマブック展示/ポスター描き/しおり作り

お雛さま・七夕・Xmas ツリー飾りつけなど

その他の活動:トンボ田んぼ探検(自然観察会)月に1回

下澤姫花子(ひなこ)さん(北平・緑屋/4年生)。昨年秋、飯嶋和彦さん(長原・若松)が、ボランティアの子どもたちの似顔絵を描いてくださいました。昨年10月発行の178号に続き、3人目のご紹介となります。